

目標達成計画

作成日: 平成 27年 8月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居の方の思いや、要望を聞いたことが記録に充分記載がないため、スタッフ間の理解不足あり。その方のQOLにつながっていない面がある。	スタッフ間で入居の方のQOLをさらに深め、理解し行動する。	毎月の合同ミーティング時、各ユニット2名ずつ生活歴などや情報交換(最近の様子)を行い、ケースカンファを含め、実践可能な事柄は実践し、経過を密に記載し要望、QOLに添う。	4ヶ月
2	26	チーム間で計画と支援が連動していない時がある(情報交換不足による)	効果的な計画、ケアを実践する。	毎週水曜日(午前9:30~10:00)ショートカンファレンス(2名ずつ)計画、支援内容を話し合い再検討を行って(変更も含め)ご本人が安心、満足されているか確認する。	3~4ヶ月
3	54	居室内にポータブル便器を設置しているが、尊厳を守る為に配慮に欠ける面があった。	今後よりも居室の快適な環境を提供する。	ポータブル便器には癒し系のマルチカバーを作り、ご本人が安らぐ気持ちになれる様、消臭剤の位置も気配りをし、室内換気をこまめに行い不快とならないように、清掃時毎日確認する。	1ヶ月
4		アンケート結果より、ご家族より外部評価の報告がないとの回答を受けた。(地域密着会議時報告はしていたが)	グループホーム内の暮らしの理解を深めて頂く。	8月末頃に結果報告を入居者様ご家族に郵送にてお知らせし、疑問点、要望などにその都度説明対応させて頂く。	1ヶ月
5					ヶ月